

令和元年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）⑨

令和元年 8 月 5 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑨ <b>「広報事業」【情報課】</b>
開催日時	令和元年 8 月 5 日（月） 午前 9 時 3 5 分から午前 1 0 時 3 5 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>&lt;外部評価実施者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革推進委員 杉山知子、島田智子、山口秋男</li> <li>・外部評価委員 永吉 輝、山瀬のぞみ</li> </ul> <p>&lt;担当課&gt;</p> <p>市長公室次長 横地賢一、情報課長 福岡弘恵、同課係長 榊本芳樹</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 5
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標について、広報紙の「不満足度」について、不満足な理由は人それぞれだと思うため、具体的な不満足な理由への対応状況を行政評価票に記載されるとよい。</li> <li>・広報紙の「不満足度」はこれからもおそらく増えていくことはないと思う。このことが適切な評価につながるか疑問に感じるため、指標の工夫は必要と思う。</li> <li>・広報紙をどれだけの人が見ているかを把握、分析することは必要と思う。市民意識調査の活用などが考えられる。</li> <li>・高齢者にとって、広報紙の紙媒体での発行について、コストが掛かることはあるが、読みやすさもあるため、ありがたいものと思う。また、写真が掲載されているため、より読みやすくなっていると思う。</li> <li>・子ども向けの記事が少ないように思う。</li> </ul>
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙について、とても読みやすくなっていると思うが、他方でコストも掛かっていると感じる。紙媒体は残ると思うため、コスト面（財政面）の考慮が今後必要となる。</li> <li>・広報紙は公共性が高いと思うが、企業の広告を掲載し、広告料として収益性を研究されるとよいと思う。</li> <li>・長久手市の広報紙はレベルが高いと思うため、もっとアピールすべきと思う。</li> <li>・ケーブルテレビ番組の視聴頻度に関する指標の目標について、調査対象者がながモニへの登録者からすると40パーセントの目標は低いように感じる。せめて50パーセントは目標としてよいと思う。</li> <li>・ケーブルテレビの視聴頻度を増やすことについて、参加型の番組や子ども向けの番組を制作するとよいと思う。</li> <li>・ながモニについて、例えば、特定の人へのアンケートだけでなく、無作為で1,000人くらい抽出して、アンケートを実施するのも方策だと思う。</li> <li>・市民記者の発表の場を設けることも検討されるとよい。市民まっりの活用も考えられる。</li> <li>・中学生、高校生、大学生の部活やサークルなどの活用も有効と思う。</li> <li>・若い世代では、ホームページにそもそもアクセスすることは少なくなっているため、SNSの使用頻度は多いと感じるため、よりSNSの活用が有効と思う。</li> <li>・子育て世代に向けてはアプリの活用が有効と思う。</li> </ul>
--	---

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙の「不満足度」に関する成果指標について、工夫すること。</li> <li>・広報紙のクオリティは高いと思うため、持続可能で10年、20年続けていくために、色々な人に協力してもらおう体制を日ごろから作ることは大切であり、引き続き取り組むこと。また、収益性についても、研究されたい。</li> </ul>
---------------	---